



幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業 成果報告会

北海道教育庁学校教育局義務教育課
幼児教育推進センター





交流学習で、
みんなで一緒に作った飾りが、
入学式に飾ってあって
嬉しいな♪

交流学習で、他の園の
お友達とも仲良くなったよ。
4月からみんな一緒に
楽しいね♪



交流学習で、小学校には
何度も来てるから、
教室やトイレの場所は
分かっているよ♪

嬉しい！楽しい！安心！がいっぱい



自分たちで考えて、自分たちで行動できるよ！

先生、休み時間にみんなで
リレーあそびやってもいい？
自分たちでやるから！

生活科で捕まえた生き物を
育てるために必要なことは
自分たちで、もう調べたよ！

年長さんとの秋祭りに
招待状を書いたらどうかな？
洋服を作ったら楽しそう♪
やりたいことがいっぱい！

幼児教育の質を高めて、基盤づくり

【よこの連携・協働】

子どもが楽しく遊んでいる様子を見ていると、
保育者も嬉しい♪



卒園児が頑張っている姿
を見れて嬉しい♪
もっとよい保育をして
いきたいな！

5歳児は、いろんな
ことができるんだな！

保育を工夫したら
子どもが生き生き！
次はどんな工夫を
しようかな？

園でやってきたことを
まず子どもに聞いてみよう！

他園との交流で、
気づきがたくさん！

子どもがやりたいことを
実現できるようにしよう！

一人一人の子どもの力を
信じよう！

子どもの力ってすごい！

幼児教育への理解を深めて、円滑な接続

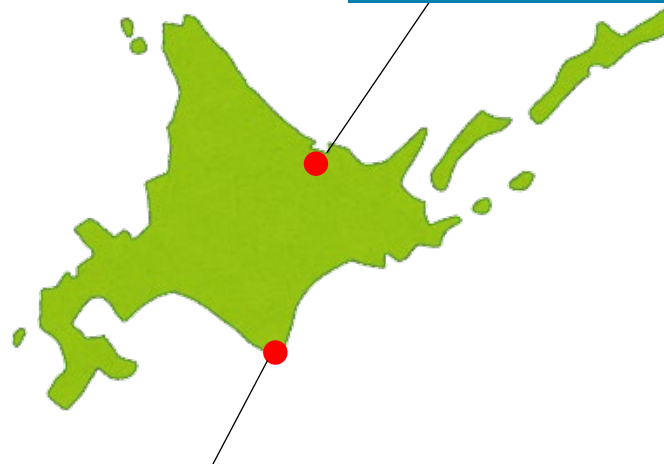
【たての連携・協働】

※文中における「子供」の表記は、道教委において「子ども」に統一しているため、以降の全て「子ども」と記載しています。

佐呂間町

人口 4,646人（2024年12月末現在）

- ・ 公立保育所 3 園（首長部局所管）
- ・ 公立小学校 3 校
- ・ 公立中学校 1 校
- ・ 道立高等学校 1 校



えりも町

人口 4,059人（2024年12月末現在）

- ・ 公立保育所 3 園（首長部局所管）
- ・ 私立幼稚園 1 園
- ・ 公立小学校 4 校
- ・ 公立中学校 1 校
- ・ 町立高等学校 1 校

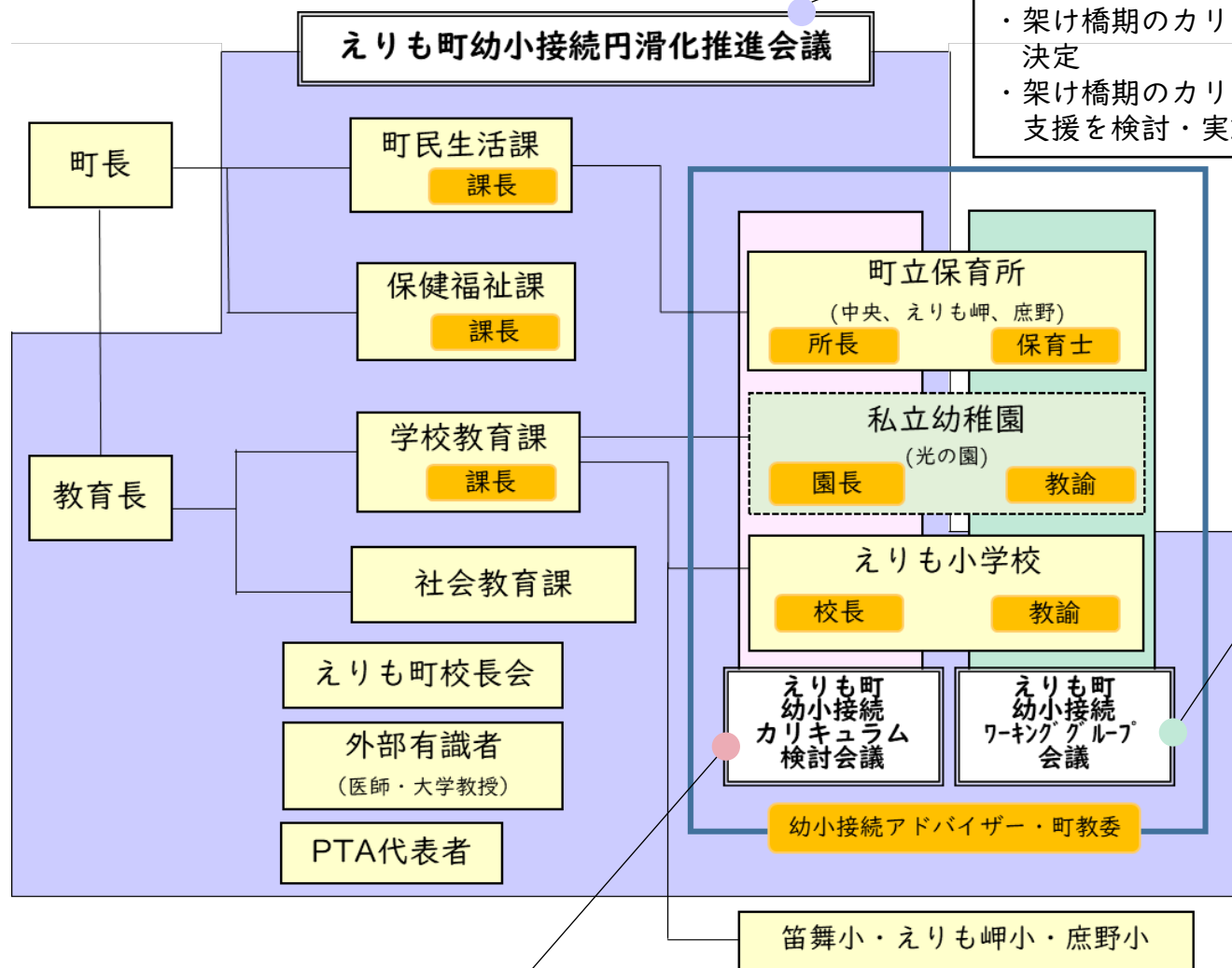
- 保育所でカリキュラム！？
- 架け橋期のカリキュラムを作成したら、各園のよさがなくなるのでは？
- 新たなカリキュラムはなぜ必要！？ やることが増えるのは…
- 忙しいのに、みんなが集まることはできるの！？

など



つながろう！

- 教育委員会が主導し、連携・協働体制を構築
- 架け橋期のコーディネーターを配置



【構成員】

教育委員会、町関係部局、幼児教育施設、小学校、有識者（大学教授、医療関係者）、PTA

- ・ 架け橋期のカリキュラムの開発に向けた方針を決定
- ・ 架け橋期のカリキュラムの実施・検証に向けた支援を検討・実施

【構成員】

幼児教育施設の保育者と小学校の教員

- ・ 子どもの姿や各園・校の保育及び教育活動を基に、架け橋期のカリキュラムの内容を協議



【構成員】 幼児教育施設長と小学校長

- ・ 方針を基に、現状と課題を整理し、架け橋期のカリキュラムの方向性を決定

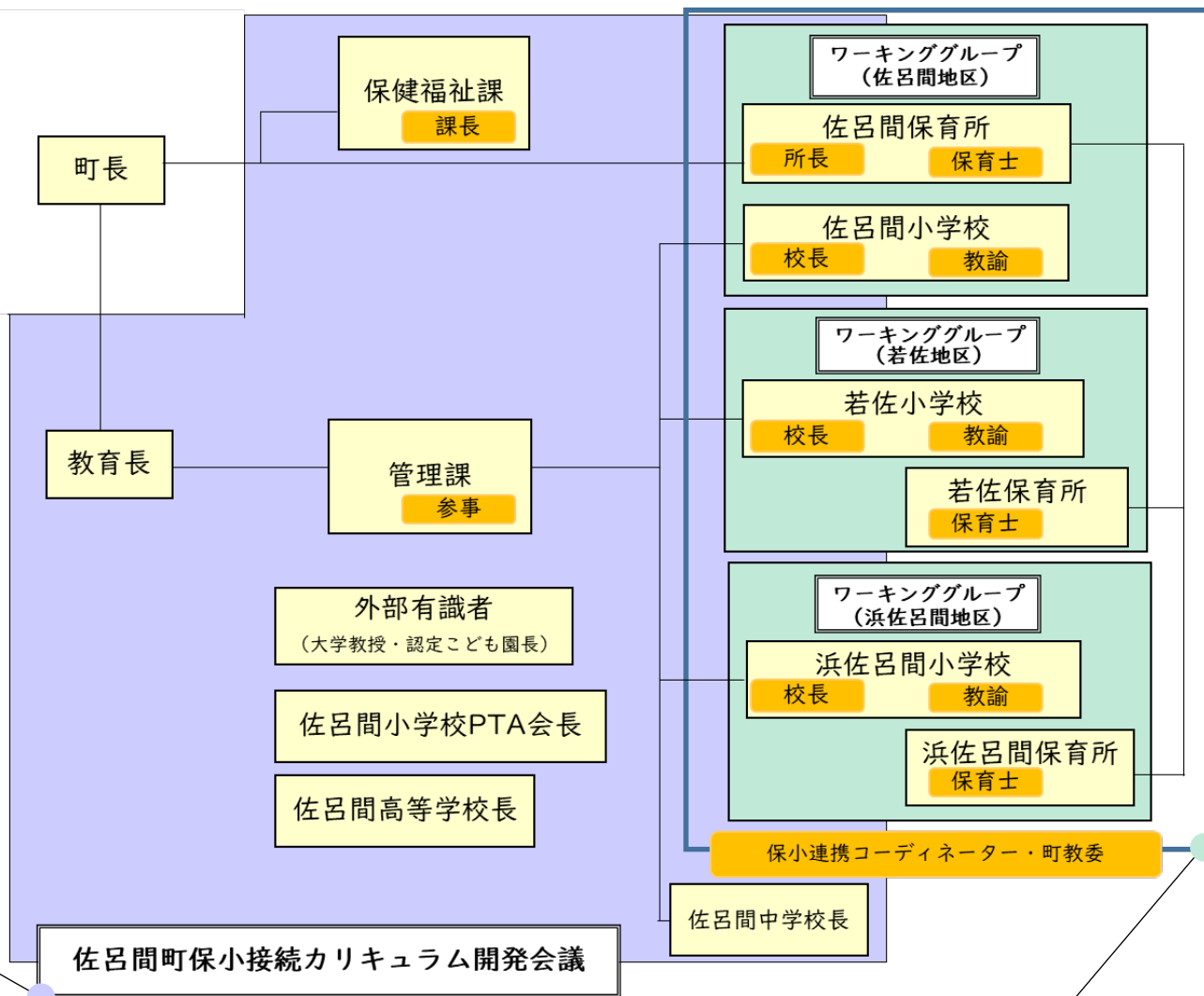
佐呂間町



【構成員】

教育委員会、町関係部局、幼児教育施設、小学校、中学校、高等学校、有識者（大学教授、幼児教育施設長）、PTA

- ・ 架け橋期のカリキュラムの開発に向けた方針を決定
- ・ 架け橋期のカリキュラムを分析、検証等



【構成員】

幼児教育施設の所長・保育者と小学校の校長・教員

- ・ 各地域の特性や子どもの実態を踏まえて架け橋期のカリキュラムの内容を協議

架け橋期のコーディネーターの取組

基盤づくり

- ・ 幼児教育施設及び小学校への訪問
- ・ 幼児教育施設と小学校の現状・課題の把握・分析
- ・ 架け橋期の教育や幼小連携・接続の重要性についての理解の促進

架け橋期のカリキュラムの検討・開発・実施・検証

- ・ 架け橋期のカリキュラムの様式や項目等を開発会議で提案
- ・ ワーキンググループ等の企画・運営
- ・ 幼児教育施設と小学校、幼児教育施設間の連絡調整
- ・ 幼保小合同研修会や幼保職員合同研修会の企画・運営
- ・ 他園の保育や小学校の教育活動について情報提供
- ・ 架け橋期のカリキュラムの進捗状況の把握・分析
- ・ 幼児教育施設と小学校の保育及び教育活動への助言

保護者や地域住民へ発信

- ・ 通信の発行
- ・ 小学校の1日入学等で架け橋プログラムについて説明

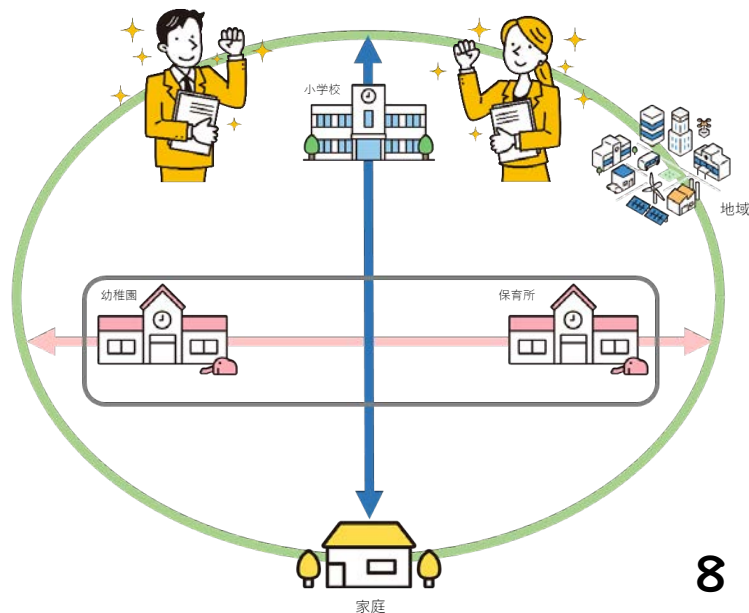
コーディネーターの難しさ

関係者の
共通理解

経験が
ない教育
への助言

コーディネーターとして大切なこと

信頼関係
一緒に学んでいく姿勢が大切



理解を深めよう！

- 幼児教育と小学校教育への理解を深める
- 幼児教育の質向上への理解を深める

幼児教育と小学校教育への理解を深める

保育及び授業参観

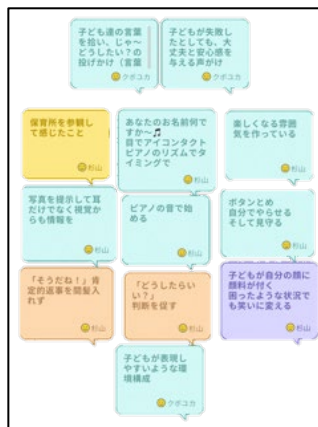
- 保育参観後は、子どもの姿を基に協議



【佐呂間町】

協議を通して、
幼児教育施設と
小学校が連携し、
子どもの学びを
接続することの
重要性について
共通理解が図ら
れました。

- ICTを活用し、リアルに気付きを共有



【えりも町】

保育参観による
気付きを即時に共
有できるため、新
たな気付きが生ま
れたり、参観する
視点が深まったり
することにつなが
りました。

- 保育及び授業参観に行くことが難しい先生のために動画を作成



【佐呂間町】

5歳児と1年生の担当以外の先生も、保育及び教育活動について理解を深めることができるよう、架け橋期のコーディネーターが幼児教育施設と小学校を訪問し、動画を作成しました。

幼児教育と小学校教育への理解を深める

幼保小合同研修会

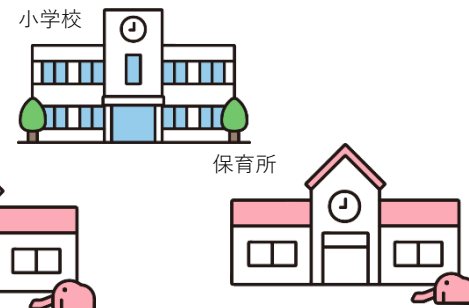
● 大学教授等による講話

【えりも町】

- ◆藤女子大学教授 吾田 富士子氏
「架け橋期の教育の充実・
幼保小の引継ぎの工夫について」
- ◆道教委指導主事
「小学校の生活科について」

【佐呂間町】

- ◆文部科学省初等中等教育局幼児教育課長
「『架け橋プログラム事業』について」
- ◆千葉大学名誉教授 天竺 茂氏
「0歳から18歳までの教育の連携
～幼児期から青年期への学びの架け橋～」



● グループ協議



- ・各幼児教育施設と小学校の保育及び教育活動等について交流しました。
- ・道教委幼児教育推進センター「園内研修用オンデマンド教材」等の動画を視聴し、幼児教育施設の保育者と小学校の教員で、幼児への関わり方等について協議をしました。

当初は、「何をするのか分からない」といった戸惑いがありましたが、講話を通して、架け橋プログラムの具体的な内容について理解を深めることができました。

参加者同士で、日々の教育に対する思いや悩みなどを交流したことで、日々の実践の振り返りにつながりました。

教職員が、子どもたちの「知りたい」「学びたい」を止めない声かけや指導、活動が必要だと感じました。

グループでの話し合いは有意義な時間であり、現場での思いがつながっていき、とても実りあるものでした。

研修会の回数を重ねることで、さらに「知りたい」という興味・関心が強くなりました。

実際に集まって直接話すことにより、幼児教育施設と小学校との距離が縮まったように感じました。

幼児教育の質向上への理解を深める



幼稚園



保育所

幼保職員合同研修会 【えりも町】

スタートは
幼児教育の
基本の確認
から

- ・ 幼児期に育みたい資質・能力とは？
- ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは？
- ・ 環境を通した教育とは？

動画を見て
保育者の
援助を
学んだり

えりも町の
保育者
みんなで
話したり
考えたり

互いの園の
保育参観
を通して
刺激を
受けたり

自園の保育
に他園の
よさを
取り入れて
みたり

先生の
つながりが
子どもの
つながりに

町内の幼児教育施設がつながり、
保育について話し合うことで、
自園の保育の振り返り・改善につながりました。

架け橋期の
カリキュラムの
作成に向けて

話し合おう！

えりも町

えりも町で設定した
めざす子ども像と
目標とする資質・能力

えりも町の子どもの実
態を踏まえ、幼保小で
検討し、2つの重点を
設定



小学校では、生活科を
中心に行事等との関連
を意図的・計画的に

発達の段階や個に応じ
た配慮事項

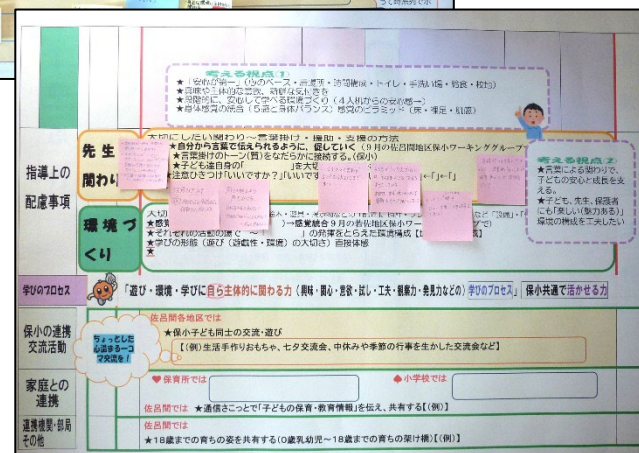
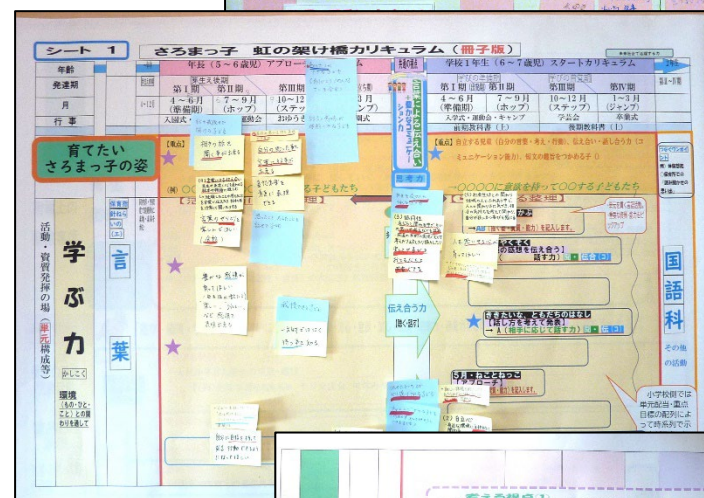
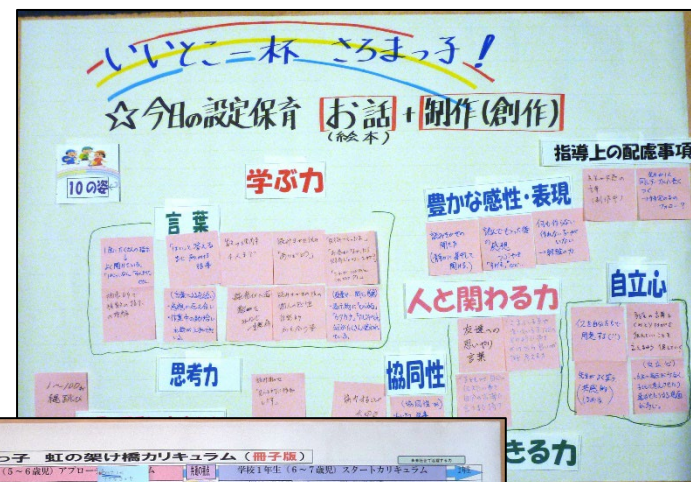
令和5年度 えりも型子育て全体構想（グランドデザイン）	
えりも町学校教育の推進	
今日の時代に対応する「知・徳・体の調和のとれた教育」	
めざす子ども像 考える子 思いやりのある子 たくましい子	
学校教育の基本姿勢	3つの確かな学力の育成
1 基礎学力の育成 2 幼・小の接続と幼小中連携の推進 3 えりも高校の接続への対応	①基礎・適性 ②教育課程 ③生徒指導 ④健康・安全 ⑤保健・衛生 ⑥施設・設備 ⑦保護者・関係機関 ⑧個人情報
目標とする資質・能力	
①基礎的・基本的な知識・技能 ②基礎的・基本的な思考・判断力 ③基礎的・基本的な態度・意欲	④基礎的・基本的な知識・技能 ⑤基礎的・基本的な思考・判断力 ⑥基礎的・基本的な態度・意欲



えりも町「架け橋期カリキュラム」	
めざす子ども像 考える子・思いやる子・たくましい子	
目標とする資質・能力	①基礎的・基本的な知識・技能 ②基礎的・基本的な思考・判断力 ③基礎的・基本的な態度・意欲 ④基礎的・基本的な知識・技能 ⑤基礎的・基本的な思考・判断力 ⑥基礎的・基本的な態度・意欲 ⑦基礎的・基本的な知識・技能 ⑧基礎的・基本的な思考・判断力 ⑨基礎的・基本的な態度・意欲
時期	年長児（5歳児） 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 第1学年（6歳児） 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
育ってほしい児童の姿	①安心して学校生活を送る ②友達と協力し、思いを実現する ③友達と協力し、思いを実現する ④友達と協力し、思いを実現する ⑤友達と協力し、思いを実現する ⑥友達と協力し、思いを実現する ⑦友達と協力し、思いを実現する ⑧友達と協力し、思いを実現する ⑨友達と協力し、思いを実現する
主な活動・単元と行事	①入所・入園式 ②運動会 ③発表会 ④クリスマス会 ⑤お楽しみ会 ⑥お別れ会 ⑦入学式 ⑧学年活動 ⑨学習発表会 ⑩卒業式 ⑪入学式 ⑫学年活動 ⑬学習発表会 ⑭卒業式 ⑮入学式 ⑯学年活動 ⑰学習発表会 ⑱卒業式
配慮事項	・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮 ・子どもの発達段階や個性に合わせた配慮
幼保小連携	・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査 ・入学後の実態調査
家庭との連携	・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等） ・日常的な情報共有（お便り、個人ノート等）

主な協議テーマ

- 参観した保育の素晴らしいところ
- 先生方の関わり方
 - ・子どもの「気付き」や「言葉」を引き出す働きかけ
 - ・先生の働きかけの意図
- 育みたいさろまっ子の姿
- 育みたいさろまっ子の姿に向けて、先生が援助や指導において心がけていること
- さろまっ子架け橋カリキュラムの「学ぶ力」
 - ～「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにして～
- 園・小学校の「環境の構成」
 - ・思いっきり諸感覚が発揮できる環境づくり（工夫していること）
 - ・子どもの生活や学びの安心・心の安全～ギャップを少なくする教室づくり、時間構成
- さろまっ子架け橋カリキュラム全体に関わって
- 各地区の保小の子どもの交流活動について



さろまっ子 虹の架け橋アプローチカリキュラム【解説版】

アプローチカリキュラム 第Ⅰ期〔準備期〕4～5月

作成中です！

活動内容 番号	カリキュラムの解説（☆子どもの姿 ◎援助例） _____：「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	…10の姿 …「さろまっ子虹の架け橋」 …保育指針
絵本 ①②	☆絵本や物語などに親しみながら、お話や表現の面白さを味わい、想像をふくらませながら楽しもうとする。 ◎豊かな言葉や表現に興味・関心がもてるよう、気付きや投げかけ、問いかけなどを通して援助していく。	言葉による伝え合い ⑤⑥ 言葉②③ 活動例1
遊び・生活 ③ (言葉)	☆遊びや日々の生活の中で、心動かされるような体験・経験をした時に、それを親しい人に言葉で伝えたいくなる。 ☆友だちと思いをし合い、伝え合いながら遊びや活動に取り組もうとする。 ◎幼児の話しや思いを聞き取り、友達同士で自由に話せる雰囲気や心の交流の場を作るなど援助する。	言葉による伝え合い ①②③④ 言葉⑨ 活動例2
日直 ⑧	☆友達の前で自信を持って日直や行事の司会、発表などしたり、当番をしようとする。	言葉による伝え合い ⑥⑦ 言葉④⑤ 活動例3
鉛筆や筆記具 ⑨	☆クレヨン、マーカー、色鉛筆、鉛筆などの筆記具を正しく持ち、書こうとする。～3指での持ち方を発達に合わせ、段階的に身に付ける ◎発達段階を踏まえながら、徐々に正しい持ち方ができるように、「持ち方体操」などを交えて少しずつ身に付くよう援助する。	言葉による伝え合い ⑬ 言葉⑩ 活動例3
遊びや生活 ～数える ⑬	☆生活や遊びを通して、数への関心を持とうとする。 例)・人の数：ドッチボール、鬼ごっこ、花いちもんめ、 ・物の数：カルタやトランプ、積み木、玉入れの数 おやつの数などを数えようとする。	数量図形、漢字文字 ⑪⑫ 環境⑨⑩ 活動例4
畑栽培 (苗植え) ⑭	☆畑栽培などを通して、生きものを大切に育てようとする。 例) ジャガイモ・タマネギ・にんじんなどの作物苗植え、水遣りや草取りを楽しむ。～天候や季節を考え、成長を見守りお世話活動をしなが、生きものに親しみを感じ、命を大切に育てようとする。	自然との関わり・生命尊重 ⑰ 環境⑤ 活動例4

活動例1

絵本①③

共通の視点

「言葉による伝え合い」

～絵本や物語の読み聞かせ～

絵本①【前期】

絵本や物語、紙芝居などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

子ども達は語られた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面白さなど、美しさに気づいたり、感性を揺らしながら共感する力を身につけていきます。

絵本③【後期】

絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な親しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

さらに、「お話大好き!」「自分でも絵本を読みたい」など物語に関する興味・関心や知識の基礎(場面の様子や登場人物の行動、気持ち、展開を予測する力など)小学校の国語の力に必要な学びの芽が、自然な形で子ども達に育まれていきます。

ワンポイント

☆この時期の子どもに「読みの芽生え」が見られるようになります。長いお話では、前回のあらすじを伝えるなどの工夫もできます。

(参考ミネルヴァ書房「発達No. 173」)



絵本や物語



参照★手引き「10の姿～言葉による伝え合い」(前半期)



参照★手引き「10の姿～言葉による伝え合い」(後半期)

【活動例】

聞く(語りかけ)

共通の視点

「言葉による伝え合い」

聞く～語りかけやお話し

子どもは安心や信頼関係を基盤に、保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、自分から共感を持って聞くようになります。

【場面】朝のお話、活動の説明、素話、先生や友達との言葉のやり取り等の他、ペープサート、パネルシアター、人形劇 など色々



佐呂間町 さろまっ子虹の架け橋カリキュラム解説版

さろまっ子 虹の架け橋スタートカリキュラム【解説版】			
スタートカリキュラム 第Ⅰ期【準備期】 4月～6月			
教科	活動内容 番号	解 説	10の姿 アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ
国 語 科	読もう ① ② ③	【活動目標】 聞いたり、眺んだりして、感じたことを友達や先生に伝えよう。 ●知らない物語に対する「興味・関心」「共感する力」を引き出しながら、読み聞かせ、感想を伝え合う。 【単元及び活動内容】 ★おはなし ききたいな ★こえにだしてよう ★はなの みち ★つぼみ ★おおきな かぶ 他	アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ
	話そう ④	【活動目標】 経験したこと・思いや考えを伝えよう。理由を考えて言ってみよう。 ●「遊び」の要素を生かしながら楽しく伝えよう。 例)「おはなしカード」等の活用 【単元及び活動内容】 全領域 ★はるが きた ★なんて いおうかな ★どうぞ よろしく ★わけを はなそう 他	アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ
	聞こう ⑨	【活動目標】 相手を見て、うなずきながら聞こう。内容をつかんで感想をもとう。 ●「共感しよう」とする特徴(特長)を生かし語りかける。 【単元及び活動内容】 ★よく きいて、はなそう ★わけを はなそう 他	アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ
	書こう ⑬	【活動目標】 鉛筆を正しく持って、伸び伸びと書こう。「べた・びん・ぐー」の良い姿勢で書こう。 ●() 【単元及び活動内容】 ★かく こと たのしいな ☆姿勢や持ち方、点画、筆順などを覚えよう ※3指での持ち方を確認しながら、正しい持ち方ができるように、「持ち方歌」「持ち方体操」などを交えて身に付くよう援助する。	アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ アカリ・カリ・カリ
算 数 科	数の大きさ ⑰	【活動目標】 身近なものの個数を数え、大きさを比べてみよう ●保育所時代に気付いた「身の回りの物の数」への関心や感覚を振り返らせながら活動に取り組ませる。 【単元及び活動内容】 ★いくつか ★なんばんめ ★いくつといくつ	
	時刻 ⑳	【活動目標】 自分の生活を振り返って、「何時」「何時半」を言ってみよう。 ●学習時計を活用しながら、子供の生活時間を振り返らせる。 【単元及び活動内容】 ★いまなんじ	
	式と計算 ㉒	【活動目標】 数の変化「ふえた」「へった」を考えさせながらお話をつくる。 ●() 【単元及び活動内容】 ★ぜんぶでいくつ ★のこりはいくつ	

活動例1	「読もう」① 関連②～④	共通の視点 「言葉による伝え合い」
【単元名】「おはなし ききたいな」 配当時間 2時間(読むこと領域②)		
【単元の目標】 読み聞かせを聞いて楽しむ ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)工) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)		
【対応するさろまっ子アプローチカリキュラムの番号】③ (①、②、④) 重点③: 幼児期の活動経験 物語の展開を想像したり、自分の体験と照らし合わせながら読み聞かせを聞こうとする。		
【保小接続の視点】 ●「前経験、安心」 スタート時の児童達は、保育所時代に、長い期間継続して保育士による数多くの絵本に触れ、豊かな「読み聞かせ」の経験を重ねている。 ①子ども達には共感力や集団と自己の思いを重ねて物語の展開を体感していく感性が育まれている。この単元では、幼児期に培われた豊かな読み聞かせ経験を生かしたい。 ②子ども達は読みたい絵本を皆で選択するといった機会も経ており、ここでも「選択の機会」を与えることで、幼児期に培った「自発性」や自己の興味・関心に基づいた「主体性」を引き出したいところである。		
【発問例】 ①「保育所の時は、どんな素敵な本に出会いましたか？」 ②「その本のどんなところが好きだった？」 ※読後は時間が許す限り多くの児童に発表させる機会を持ったり、互いの感想を共有持つ場面を大切にしたい。 ※学習活動例としては「年間指導計画」を参照下さい。		
(「こくご 1年上」光村図書より)		

やってみよう！

実践のサポート

【佐呂間町】

架け橋期の気づきを深める（続き）～保小のつながりを意識した実践③～

生活科の気づきを生かす「なぜ、何、どうやって」

①問いづくり

②予想・方法（テーマ「？」）

③活動

探求・追求 例）黒板のウェブマッピングなど

【1.どんなことができる？】おみせ、レストラン、あそびば（発想の広がりが原動力）

【2.どんなおみせにしたい？】

子ども「先生、こんなふうにしてみたいー。」

先生「それはいいね。じゃあ、どうやったらできそう思う？」（発想）

「たろう君「おれとかいいかも？」（発想） じろう君「なるほど」
たろう君「一人 300 えんまで」 じろう君「いいね。やっ

「伝える」（今日の大発見、気づき、思った）

「じゃあ、今日のみんなのアイデアを発表してみようか？」（発想）

④振り返り（いくつかをピックアップしながら）

【内容面】

・今日の授業で分かったこと「なるほどー」「こうなんだー。」

・新しい不思議「どうして○○？」「なんだろう？」

・今度やってみようこと「こんどは○○したい」

【スキルの発揮面】（コミュニケーションの力の観点）

・みんなの方を見て話しました。

・大きな声で話しました。 etc.

さろまっ子ブラ
スワンの力

【わくわくタイム】～学校探検
今日の遊び方、廊下の通り方、手洗い場、トイレ指導などの生活に習熟する基礎訓練が、大事なベースになって、この後は少しずつ、徐々にわくわくする「学校の探検」に発展し、結びついていきます。

これから予定されていることと思いますが、この後の生活科にあるように、わくわくする学校探検では驚きや発見などが鍵です。そういった「どきどき」の仕掛けの問いは、「保育所と何が違うんだろう？」「なぜや違いを見つけてみよう！」「何か新しいこと発見した？」「困ったこと見つけた？」「佐呂間小のいいところ見つけた？」「どうやったら正しく使えるだろう？」「一緒に考えてみよう」という部分がテーマになります。

そんな中で、少しずつ考えさせながら「主体的な学び・自ら学ぶ」ことに次第に移行しながら、教師が触発していくことになります。（架け橋期の特長の発揮）

そして、発見したこと ①学校生活に係わる利用法や仕組み ②先生方の役割への気づき ③あいさつ・自己紹介 ④施設の数や形、役割 ⑤校内掲示のメッセージ・意味 ⑥学習や遊びへの楽しみ ⑦安全面などで必要なことなど）について

架け橋期のカリキュラムを基に、「何を」「どのように」実践するかを架け橋期のコーディネーターと先生方が一緒に考えました。

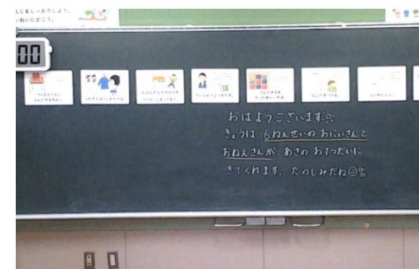
架け橋期の
コーディネーターが
先生方の保育・授業づくり
をサポート

先生方の取組のよかった点を価値付けたり、実践のポイントを取り上げたりしながら、実践サポート資料や架け橋通信「さこっと」を通して、取組の共有を図りました。

【登校～朝のおひさまタイム】

○朝の準備「手順書」と上級生のサポート（～参観できずに残念でしたが）

佐呂間小学校全体の協力体制があって、6年生のお手伝いがあり、1年生も安心して「一人の初日」をスタートさせることができたものと思います。
手順書もイラスト入りで行き届いて素晴らしいですね。



【えりも町】

幼児期の子どもの特性や幼児教育施設の環境を踏まえながら助言を行い、小学1年生の教室環境の整備等の準備を先生と一緒にを行いました。

個人のロッカーは園と同じシールで安心！



1学期は重点的に授業参観を行い、「子どもの姿」や「幼児教育とのつながり」を視点にしながら、学級担任と授業を振り返り、改善・充実を図りました。

各園の様々な実践を他園に情報提供し、保育実践の改善・充実を図りました。

幼保小の取組

幼保小交流会

【えりも町】

5歳児は
お客さん？
5歳児も
ねらいが
必要

園・小で
交流会
について
一緒に
考えよう



共通の
ねらいを
設定しよう

どんな
交流会に
したいか
子どもに
聞こう

交流会の
遊びが
楽しくて、
園でも
やったよ

幼保小交流会では、幼児教育施設と小学校の先生が、5歳児と小学1年生の子どもの姿を見ることができるよう、架け橋期のカリキュラムの作成につながりました。

幼保小交流会に向けて、幼児教育施設と小学校の先生が一緒に取り組むことで、より一層連携が図られ、架け橋期の教育の充実と一緒に進める意識の高まりにつながりました。

子どもたちは、小学校へ入学することへの期待が高まりました。複数の園が参加していたので、年長児同士のつながりも生まれました。

机と椅子の高さが分かったり、トイレの場所や使い方が分かったりするなど、子どもたちが小学校の施設を知ることによって、安心感につながりました。

幼児教育施設の取組

子どもへの
関わり方を
変えて
みたり

先生方の
声から
幼保交流会を
始めたり

【えりも町】

架け橋期のカリキュラムを作成したことで、幼児期に必要な遊びや体験、活動に十分に取り組めるように、**保育を柔軟に構想**し、実践することを目指すようになりました。

【佐呂間町】

架け橋期のカリキュラムの「先生の関わり」を踏まえ、子どもたちが、自分から「やってみたい!」という気持ちを出表できるように、「**待つ・促す・問う・見守る**」などの関わりを大切に保育を行うようになりました。



一人一人が
やりたい
遊びが
できるよう
環境を工夫
したり



一人一人の
子どもが
もっともっと
楽しく遊べる
ように!



幼保小
交流会を
振り返って
保育に
つなげたり



小学校の取組

【えりも町】

スタート
カリキュラム
を改善
したり



先生方の主体性を高めるために、スタートカリキュラムプロジェクトチームを発足

【改善のコンセプト】

- ・1年生学級担任が手元に置き、毎日開きたくなる。
- ・日常的に活用し、1年生学級担任の拠り所となる。
- ・幼児教育と小学校教育の「ゆるやかな接続」を意識。
- ・「活用編」（毎日必要）と「資料編」（時々確認）に分冊

スタートカリキュラムの存在が大きく、安心感をもって指導することができました。

スタートカリキュラムに基づき実践すると、スムーズに指導することができました。

【えりも町】

校内体制を
整えたり

- ・小学校が教育のスタートではないことを確認
- ・校務分掌に「幼保小連携担当」を位置付け

教師の指導が
変わったり

【佐呂間町】

これまで以上に、子どもの発達の段階やこれまでの育ちを生かして、目の前の子どもの姿を捉えるようになりました。

幼児教育施設での遊びを通した学びや、アプローチカリキュラムについて理解を深めておくことで、子どもの興味・関心や特性を生かした課題を設定したり、関わり方を工夫し自信をもたせたりするなど、指導を工夫することができました。

「育てたいさろまっ子の姿」「スタートカリキュラム」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識するようになり、子どもの多様性を尊重し、一人一人の違いを受け入れながら、指導や支援に反映させています。

幼児教育施設の活動とのつながりをより意識するようになり、年間指導計画やスタートカリキュラムを見直すきっかけとなりました。

園での活動
との
つながりを
考えたり

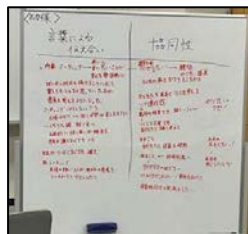
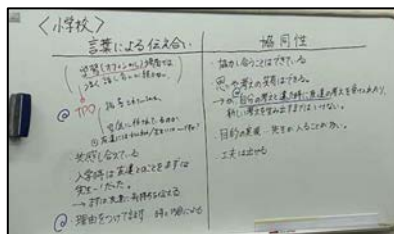
登校後塗り絵や
折り紙を折って
過ごしている。

なかよしタイムでは
絵本の読み聞かせ・貨物
列車などで楽しむ。



振り返ろう！

ワーキンググループ会議で検証



● 架け橋期カリキュラムの重点項目について振り返り

【保育者の声】

- ・子どもたちへの声かけを意識するようになった。
- ・子どもたちの自信の付き方が変わってきた。
- ・担任同士で保育について語り合い、保育内容が変わってきた。

【小学校教員の声】

- ・幼児期に培われてきた協同性が発揮され、みんなで一緒になって学習に取り組むことができています。
- ・自分の思いを言葉で伝え合い、子ども同士での助け合い、解決をしようとする姿が見られる。

● 道教委幼児教育推進センター「幼小連携・接続のチェックシート」を活用し、取組の進捗を確認

【令和6年2月】

課題を見付け
改善へ

【令和6年7月】



- ・ピンク 実施済・成果あり
- ・黄色 取組・改善中
- ・青色 未実施・成果なし

幼保職員合同研修会で検証

● 架け橋期カリキュラムを基に保育を振り返り、幼児教育施設間で交流

2024年度 架け橋期カリキュラム			
内 容			
期待する子ども像	4・5・6	7・8・9	10・11・12
協同性	・友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じながら、集団生活を通してルールを守ろうとする。	・ルールを守りながら、グループでの遊びを楽しむ。	・友達と一緒に共通の目的に向かって取り組む。
言葉による伝え合い	・友達の中で自分の考えを伝え、相手の話を聞くこととする。	・相手の気持ちや思いに気付く。	・友達と思いや考えを伝え合い、話し合いを繰り返す。
環境	・子ども達の遊びが深まるような遊びができる時間や環境を整える。	・子ども達の遊びが深まるような遊びができる時間や環境を整える。	・子ども達の遊びが深まるような遊びができる時間や環境を整える。
役割分担の習得	・友達と一緒に遊びの役割分担をわけていくような活動の計画を立てる。	・様々な遊びや活動を展開して役割分担を促す。	・必要に応じて役割分担の計画を立て、役割分担を促す。

他施設からの
コメント

- ・いくつもの活動の様子を知ることができました。
- ・運動会の用具の直しは、どんな用具にどんな直しの作業をおこなったのかなどになりました。
- ・野菜の種植えで、植える内容を自分たちで決めたからこそ、準備や作業にも積極的に参加し、成長にも関心を寄せているのですね。収穫に向けてや収穫の時の今後子ども達の様子も気になります。

各園の架け橋期カリキュラムの下に振り返りを記入し、合同研修会で交流。
他施設からの感想・意見を基に、保育を改善。

「振り返り表」による検証

- ・ 5歳児担任、1年生担任を中心に振り返り表に記入
- ・ 振り返り表を基に、管理職、担当、架け橋期のコーディネーターが協議

アプローチカリキュラム 振り返り表第Ⅱ期
〔佐呂間〕保育所

第Ⅱ期【進展期】ホップ 6月・7月・8月・9月	
月	6月・7月・8月・9月
学ぶ力	各期一貫して育てたい姿 ◎元気いっぱい遊ぶ 各期に予想されること ★思いを伝え合い経験を広げる 各期で先生の連絡・語りかけを聞くなど
言葉	聞く(語りかけ) ② 共感しながら聞く② ○○○ 会話 ⑥ 体験・思いを伝える⑥ ○○○ 掲示物 ⑩ 文字に親しむ・読もうとする⑩ ○○○
環境	制作・散策 ④ 素材の形や色に気付く④ ○○○ 身の回りの数 ⑧ 数に気付く・多い少ないを⑧ ○○○ お世話 ⑨ 動物の命を育む⑨ ○○○ 収穫・調理 ⑩ ⑩ ○○○ 野外観察 ⑩ ⑩ ○○○
健康	制作 ⑩ 素材を生かした造形⑩ ○○○ 生活・安全 ⑩ 安全な遊び・休息、衣服の調節や衛生⑩ ○○○ 自ら行動 ⑩ 自分からやってみよう、気持ちよくやろうとする⑩ ○○○ 共感・励まし ⑩ 友達や先生に相談・励ましを⑩ ○○○ 良い言葉 ⑩ ⑩ ○○○

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や保小とのつながりを意識し取り組んだ程度について
「◎(よく取り組んだ)・○(取り組んだ)」で評価

特記事項を記入。記入内容を基に協議し、指導の充実につなげていく。

実践の振り返り表【スタートカリキュラム用】
第Ⅱ期分【7・8・9月】No.1

教科	10の姿	内容項目	◎か○を記入します	コメントや気付いたこと
2	展開	場面、人物、順序を	◎	◎
6	相手意識	伝えるように	◎	◎
10	感想・理由	感想・理由を	◎	◎
14	主語・述語	主語・述語を見つけて書く	◎	◎
17	式と計算	場面の絵を見て、問題を組み、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
21	数の整理	身のまわりの物の個数は?	○	◎
24	季節を感じよう	季節の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
28	ちいさいのち	ちいさいのちの絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
34	野菜・果実づくり	野菜・果実の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
38	工芸	工芸の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
42	色々な運動	色々な運動の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
46	体の健康	体の健康の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
50	遠く・真っ直ぐ	遠く・真っ直ぐの絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
54	お楽しみ会	お楽しみ会の絵を見て、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎

実践の振り返り表【スタートカリキュラム用】
第Ⅱ期分【7・8・9月】No.1

教科	10の姿	内容項目	◎か○を記入します	コメントや気付いたこと
2	展開	場面、人物、順序を	◎	◎
6	相手意識	伝えるように	◎	◎
10	感想・理由	感想・理由を	◎	◎
14	主語・述語	主語・述語を見つけて書く	◎	◎
17	式と計算	場面の絵を見て、問題を組み、多い少ないを考え、式にしよう	◎	◎
21	数の整理	身のまわりの物の個数は?	○	◎

「10の姿」や学びのプロセスを意識しながら、よく取り組んだ...◎
取り組んだ...○

コメントや気付いたこと
教科ごととわくわくした活動のものを～子どもたちの反応など1つか2つくらい絵筆のメモ書きで良いです。

◎言葉の読み取りだけでは人間関係と場面展開がつかない
→「音読劇をやろう！」～動作化することで「だれが、どうようにしたのか」実感、実演し、想像力を高めよう。

◎コミュニケーション活動(※下記)
◎生活科の「観察記録カード(横書き)」などのつながり～合科・関連指導などを行っていた。

成果と課題

自治体における成果

えりも町

- ・本事業に取り組む前は、私立幼稚園、公立保育所、公立小学校において、1日入学や担当者同士の引継ぎを行う程度であったが、本事業に取り組んだことにより、「えりもの子どもを育てる」という同じ目的に向かい、一体感をもって保育及び教育をすることができた。
- ・会議や研修会を通じて、私立と公立、施設間の垣根・立場を越えて連携・協働することができたことにより、幼児教育施設の保育者同士の交流が深まり、横のつながりをもつことができ、保育の質の向上につながった。
- ・えりも町の強みである小規模な地域という環境により、各施設と密に連携し合うことができ、より実効性を高めている。
- ・小学校入学前に、他の園の幼児や児童との交流会を何度も行い、互いに知り合うことができたことで入学後の不安が減り、より安心感をもって小学校生活をスタートすることができている。

自治体における課題

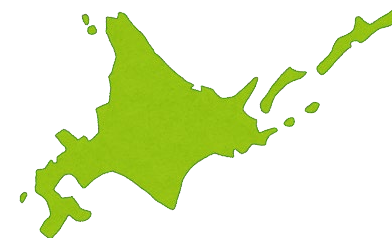
- ・幼保小の架け橋プログラムにおける関係部局の役割
- ・持続可能な取組にするための方策



佐呂間町

- ・0～18歳を見通した教育を考える上で、町内の各教育施設が立場の違いを超えて、架け橋期の学びの接続が重要であることについて共通理解を得ることができ、子どもの成長を協働して支えていくための組織基盤ができた。
- ・保育所の保育士、小学校の教員が架け橋期の子どもの指導方法やカリキュラムを協働で見直すことを通して、情報交流の機会をもち、互いの信頼関係を深めるとともに、指導力の向上につながる契機となった。
- ・「架け橋期の教育」を起点に、教育委員会が保護者や教育施設と子どもの望ましい育ちをともに考え、支援できる場が増えた。
- ・「架け橋期のカリキュラム」を作成したことで、保小互いの保育・教育の姿が見えるようになり、お互いの活動に対して一層の理解や協力が生まれつつある。
- ・保小の交流活動を通して、子ども同士がつながりを一層深めることができた。
- ・カリキュラムの実践と振り返り協議を通して、保小の保育や授業などの活動に対して、励ましや支援、コメントや助言をしやすい環境が整えられた。

本道の架け橋期の教育の充実に向けて



- 指定地域の調査研究を踏まえ「北海道版幼児教育スタートプログラム」を策定
- 「北海道版幼児教育スタートプログラム」を全道へ周知
- 幼小連携・接続担当者研修を実施
- センター実施研修において、架け橋プログラム推進に向けた講座を実施
- 架け橋期の教育の充実に向けた保護者向けリーフレットを作成
- 各自治体の実施する研修へ幼児教育相談員を派遣

幼保小の架け橋プログラムで
幼児教育と小学校教育が円滑につながると



地域の子どもが
すくすく育って
嬉しい



子どもたちの学びに
わくわく 楽しいがいっぱい



先生たちも
保育・授業が
楽しい



保護者も安心

